



〔審査証明番号／有効期限〕	BCJ-審査証明-208／2029年1月26日
〔技術の名称〕	建築物の外壁補修技術「エクセルピンネット工法」
〔依頼者（審査証明取得者）〕	東邦レオ株式会社

〔技術概要〕

本技術はRC造、SRC造又はPCa造の外壁に施工され、経年により劣化したタイルやモルタルの外壁仕上層の上にポリマーセメントモルタル（商品名：ビッグボンドK）、グラスファイバーメッシュ、ステンレスアンカーからなるピンネット工法を施工することで、その剥落を防止する外壁補修技術である。

なお、本技術による補修面の上面に施工する新規仕上げは、建築用仕上塗材とする（新規仕上げは本技術には含まれない）。

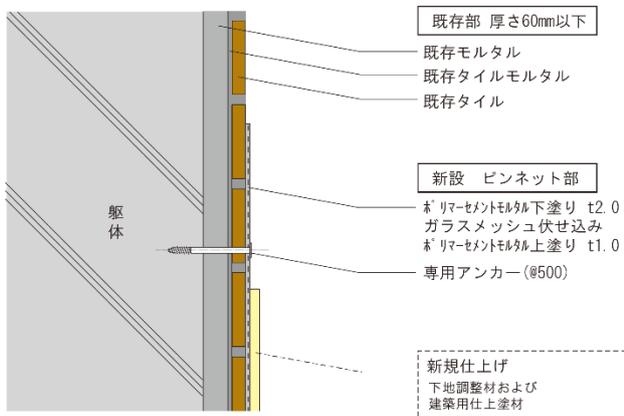


図1 本技術の構造図

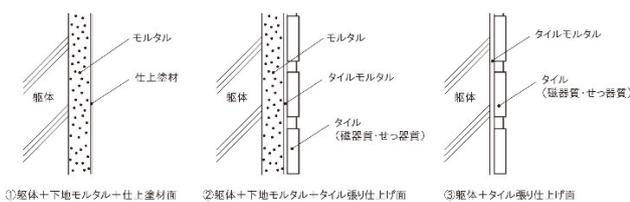


図2 本技術適用の既存壁構造



図3 使用材料：アンカー

〔開発の趣旨〕

既存コンクリート建築物において、経年劣化したタイルやモルタルの外壁仕上げ層を撤去することなく、ピンネット工法により被覆保護することで、その落下事故を未然に防ぎ社会資産である建築物を維持保全する。

〔開発目標及び審査証明結果〕

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

- 外壁補修技術として新たに施工するガラスメッシュ入りポリマーセメントモルタルの既存下地への接着強度が0.4N/mm<sup>2</sup>以上であると判断される。
- 温冷繰り返しや凍結融解によりポリマーセメントモルタルの既存下地への接着強度が0.4N/mm<sup>2</sup>未満に低下したり、ひび割れを生じないものと判断される。
- 既存壁に打ち込まれたアンカーピンは、施工時よりもより温冷繰り返しによっても、下地コンクリートが健全である限り3.0kN/本以上の引抜き強度を有し、落下に対する安全を確保できるものと判断される。
- 既存の仕上げ層を撤去することなく、建築廃材の発生を抑制する補修技術を確立しているものと判断される。
- 適切な施工マニュアルを定めるとともに、施工管理技術者を育成し、責任施工体制を確立しているものと判断される。

〔本技術の問い合わせ先〕

- ・企業名：東邦レオ株式会社
- ・担当者名：増田洋之
- ・TEL：06-6762-2100
- ・FAX：06-6762-4910
- ・技術紹介サイト

<https://www.ecopro.jp/excel/index.html>

